

社内バーチャル PPA の活用による 使用電力の 100%再生可能エネルギー化

このたび、PHOTON CAPITAL 合同会社（東京都渋谷区 代表者 水野優子 以下、PHOTON CAPITAL）およびクリーンエナジー2 合同会社（PHOTON CAPITAL 合同会社が運営する発電事業者 以下、クリーンエナジー2）は、コーポレート PPA^{※1}（以下、本 PPA）を締結しました。

本 PPA により、PHOTON CAPITAL には、クリーンエナジー2 が三重県鈴鹿市に所持する太陽光発電所で創出した追加性のある再生電力^{※2}の環境価値が、非 FIT 非化石証書^{※3}として付与されます。これにより、2023年9月より国内の PHOTON グループ^{※4}で使用するすべての電力が、再生可能エネルギー由来となります。

PHOTON CAPITAL は、これまでも非 FIT 発電事業の開発・投資を積極的に行っており、今回の発電事業の実施は、環境に対して責任のある開発・資産運用会社としての活動の一環となります。また、PHOTON CAPITAL では本 PPA の実施により、今後非 FIT 発電事業にて発生する運営実務面での論点を洗い出し、安定的な事業運営のためのノウハウの蓄積が見込まれます。

PHOTON CAPITAL は今後も非 FIT 太陽光発電事業でのリーディングカンパニーを目指して、安定的に発電所の開発並びに運営を行い、コーポレート PPA の更なる普及、クリーンエネルギー社会の実現へ向け尽力してまいります。

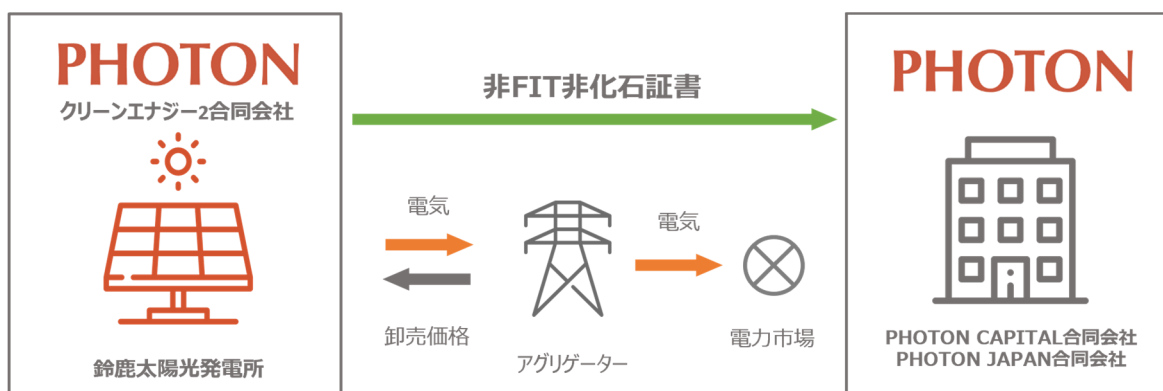
※1 コーポレート PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）は、企業が再生可能エネルギーを発電事業者から長期にわたって固定価格で購入する契約です。企業が CO2 排出量削減に貢献できるエネルギー調達手法として注目されています。

※2 追加性のある再生電力とは、再生可能エネルギー電源の新規開発により、世の中の再生可能エネルギー発電総量増加に直接寄与する電力を意味します。

※3 「固定価格買取制度（FIT）」は、再生電力を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度です。電力会社が買い取る費用の一部を国民から賦課金という形で集め、コストの高い再生電力の導入を支えています。発電において二酸化炭素を排出しないという FIT 電気の特性やメリットは、費用を負担する国民を含む全需要家に広く薄く帰属することとされているため 100%再生電力として認められない一方、非 FIT 電気では国民全体の費用負担はなく、非 FIT 電気の供給を受ける需要家にその特性やメリットが帰属するため、100%再生電力として認められています。

※4 PHOTON CAPITAL 合同会社、及び PHOTON JAPAN 合同会社

◆本 PPA におけるスキーム図



◆発電所の概要

発電所名	鈴鹿太陽光発電所（所在地：三重県鈴鹿市三宅町）
運転開始時期	2023年9月1日
初年度予想発電量	109,993 kWh



◆PHOTON CAPITAL 会社概要

会社名	PHOTON CAPITAL 合同会社（英：PHOTON CAPITAL LLC）
所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号 渋谷クロスタワー13階
設立年月	2017年8月
代表者	水野 優子

◆PHOTON JAPAN 会社概要

会社名	PHOTON JAPAN 合同会社（英：PHOTON JAPAN LLC）
所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号 渋谷クロスタワー13階
設立年月	2014年9月
代表者	大川 礼次郎、水野 優子

以上

<本件に関するお問い合わせ> PHOTON CAPITAL 合同会社 広報部 Tel. 03-6455-4465（代表）